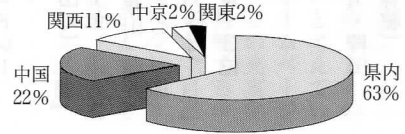


進路状況

	本年度	昨年度
卒業者数	104名	150名
就職者数	57名	95名
進学者数	43名	53名
未定者数	4名	2名
内定率	93.4	97.9

本年度の地域別就職内定状況



県内求人を出足が悪かったこともあり、一回目の就職試験では、半数が県外企業を受験しましたが、結果は五五名受験中三六名が内定、一九名が不採用でした。その後、県内求人にも出始め二回目以降持ち直し現在九〇%の内定率となっております。

就職内定先(順不同)

(県内)  
堀工務店・江津土建・羽須美建設  
森崎窯業・イワミ工業・永井建設  
いわみ中央農協・トップ金属・マルハマ食品・第一希元素化学工業・中電環境テクノス・シバオ・サンキ・島根リコー・江津NPサービ  
ス・和幸電通・日本ケーブルシス  
テム・山代電気工業・大田通信・  
内村電機・島根合板浜田針葉樹・  
企業警備保障・大田石油

(県外)  
トヨタ自動車・三菱重工高砂・三  
菱重工広島・王将フードサービス・  
ロビンベッド・むさし・マリソ  
リス・マツダ・虹技・スタイリス  
ト進・キョウラク・合同産業・グ  
ローリー商事・ジーンズカジュア  
ルダン・常石造船・広島アルミ・  
広越・ケイティ21・メディアアモ

進学先(順不同)

(4年生大学)  
国士舘大学・西日本工業大・第一  
工業大学  
(短期大学)  
ポリテク島根  
他専門学校  
(平成十五年一月現在)

平成十四年度

学園祭

生徒指導部

『三科一体完全燃焼』をテーマとして平成十四年度の学園祭が、十月三日(文化祭)と五日(体育祭)の両日開催されました。

隔年開催の文化祭では、各科の科展示をはじめ、文化系部活動や保健委員会など各委員会の展示、発表などが行なわれました。体育館では、ライブや石見神楽「頼政」が演じられ、見応えのある舞台となりました。又、喫茶やラーメン、野点もあり盛況でした。

体育祭は長年、四科対抗で競いあつていましたが本年度より、建築科(緑)機械科(紫)総合電気科(青)の三科対抗となり、建築科の十一連覇がなるか優勝の行く方に関心が集まりました。

結果は次の通りです。

1 総合の部

優勝 総合電気科

2位 機械科

3位 建築科

2 応援合戦の部

1位 建築科

2位 総合電気科

3 3位 機械科

デコレーションの部

1位 機械科

2位 建築科

3位 総合電気科

4 綱引きの部

1位 機械科

2位 総合電気科

3位 建築科

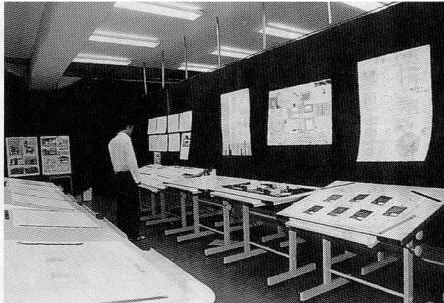
5 色別対抗リレー

1位 機械科

2位 総合電気科

3位 建築科

以下その一部を紹介いたします。



科 展 示



野 点



綱 引 き



色別対抗リレー



応 援 合 戦

平成十四年度 部活報告書

生徒指導部

野球部

春季中国大会地区予選

一回戦 4-6 矢上

全国高校選手権島根大会

一回戦 4-11 松江西

秋季中国大会地区予選

一回戦 1-8 浜田

県高校総体

バレー部

一回戦 0-2 松江北

バスケット部

二回戦 87-57 隠岐水産

三回戦 63-79 大田

ソフトテニス部

男子団体戦 3位

二回戦 3-0 松江北

準々決勝 2-0 松江南

準決勝 0-2 浜田

男子個人戦

ベスト20

ベスト32

卓球部

男子団体戦

一回戦 0-3 松江南

男子個人戦

ダブルス ベスト32

シングルス ベスト64

陸上部

各種目とも予選敗退

水泳部

男子200m個人メドレー

2位(片山)

男子400m個人メドレー

2位(片山)

ボート部

男子クオダブル 優勝

男子ダブルスカル

3位(石田・藤井)

男子シングルスカル

優勝 (井上)

女子シングルスカル

3位 (久森)

弓道部

男子団体戦 優勝

予選 40射24中

準決勝・決勝 80射60中

(植田・梢江・小川・稗田)

(盆子原・岡本・森脇)

男子個人戦 予選敗退

女子団体戦 予選敗退

女子個人戦 2位

(尾花) 12射中10中

サッカー部

二回戦 1-1 津和野

(PK 2-3)

ワンダーフォーゲル部

11パーティ中7位

中国高校選手権

ソフトテニス部 (山口市)

男子団体戦

一回戦 3-0 鳥取東

二回戦 0-3 岡山理大附

個人戦 (青木・佐々木組)

一回戦 4-0

二回戦 2-4

水泳部 (米子市)

男子200m個人メドレー

5位 (片山)

男子400m個人メドレー

2位 (片山)

ボート部 (山口県豊田町)

男子クオオドル 3位

(奥山・井上・濱田・藤田・藤井)

男子ダブルスカル

準決勝敗退 (濱田・石田)

女子シングルスカル 3位

(久森)

弓道部 (大田市)

男子団体戦 5位

(植田・梢江・小川・稗田)

決勝トーナメント (20射)

一回戦 16-9 鳥取西

二回戦 14-16 崇徳

全国高校総体

ボート部 (茨城県潮来町)

男子クオオドル

順次決勝敗退 (奥山・浜岡)

藤田・藤井・濱田)

男子シングルスカル

準々決勝敗退 (井上)

水泳部 (茨城県ひたちなか市)

男子400m個人メドレー

予選敗退 (片山)

弓道部 (茨城県水戸市)

男子団体戦 ベスト16

決勝トーナメント (20射)

一回戦 16-10 山梨巨摩

二回戦 14-14 愛媛松山工

競射 3-4

『技能優秀賞』受賞

(植田・梢江・小川・稗田)

盆子原・森脇)

女子個人選 5位 (尾花昌美)

予選 4射3中

準決勝 4射4中 決勝進出



18年ぶりの全国高校総体出場で健闘した弓道部

中国高校選抜

ボート部 (広島県福山市)

男子クオオドル 優勝

(奥山・浜岡・藤田・藤井)

伊藤) ※全国高校選抜出場権を得る。

男子ダブルスカル 4位

(徳田・本山)

レスリング部 (山口県下関市)

フリースタイル69kg級 出場

(平井和行)

中国高校新人

弓道部 (広島市)

男子個人戦 予選敗退

(盆子原) 8射5中

女子団体戦 ベスト16

予選 24射14中

決勝トーナメント (12射)

一回戦 4-6 広島文教女

(尾花・山本・澤津・芝村)

放送部

県高校放送コンテスト

地区大会出場

写真部

島根県高等学校写真展

奨励賞 2点 (桐田②)

入選 4点 (恵木②・川下・大原)

情報電子部

高校生ロボット相撲中国大会

自立型の部 2位 (佐々岡)

4位 (山本)

高校生ロボット相撲全国大会

(岩手県北上市)

自立型の部 ベスト16

(佐々岡)

自動車部

ホンダエコノパワー燃費競技

九州大会 (熊本県)

高校の部 2位一、二八km

全国大会 (栃木県茂木)

二チーム出場

JRC

県高校青少年赤十字秋季協議会

研究発表・優秀賞

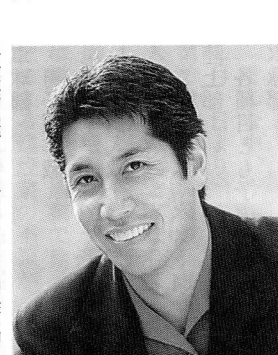
『江津エコロジー住宅』

家庭科クラブ

高文連生活科学部門 展示参加



TBS系テレビ  
西村京太郎サスペンス  
『十津川警部シリーズ』出演中  
俳優 山田アキラ  
東映俳優センター所属  
(機械科昭和60年卒)



このコーナーでは  
各界で活躍されてい  
る卒業生を紹介しま  
す。次回はあなたか  
も……。

△プロフィール▽  
本名 山田 亮 (やまだあきら)  
一九六六年江津市に生まれる。  
中学二年生の頃より『スタント  
マン』に憧れ、高校卒業後アクシ  
ョンスター千葉真一が主宰するJ  
AC (ジャパン・アクション・ク  
ラブ) 大阪校で一年間、レッス  
ンを受ける。(同校出身者には、真  
田広之・伊藤剛志・堤真一・他がい  
る) その後、上京して本格的にス  
タントマンとしての道を歩み始め  
る。ミニトラ (小型のトランポリ  
ン) を使った『空中回転』、炎  
に包まれる『火だるま』特に三十  
メートルを超える高所からの『ダ  
イビング』で、その体を張った演  
技が多々の関係者から高い評価を  
受けた。  
平成四年から俳優、渡瀬恒彦氏  
に師事する。五年間、付き人とし  
て務め自からも俳優として渡瀬氏  
主演作品に出演する。独立後は、  
東映俳優センターに所属している。  
<最近の主な出演作品>  
TBS系『3年B組金八先生パ  
ートVI』西村京太郎サスペンス『十  
津川警部シリーズ27』に出演。  
映画では錦織良成監督の作品『白  
い船』に出演、冒頭の遭難シーン  
においてダイナミックなアクション  
を演じた。昨年話題作として  
記憶に新しい。  
△今後の出演予定▽  
『十津川警部シリーズ28』が三月

<お問合せ先>  
〒104-8108  
中央区銀座3-2-17  
東映株式会社 俳優センター  
TEL (03) 3535-7671  
FAX (03) 3535-7600  
http://www.toei.co.jp



事務局だより

(二〇〇二年(平成十四年))
一月二十七日 大田市議会議員選
挙で江工会会員の当選者
月森喜一郎氏(工業化学31年卒)

二月十一日 弥栄支部総会
岡本均支部長はじめ会員二十名
近い方の出席で、鍋を囲みなが
ら和やかな総会でした。本部よ
り室安会長・木下校長・土井事
務局長が出席。

二月十五日 会報三十六号発行
各支部、地元企業、教職員、在
校生等に配布。

二月十七日 関東支部総会

森山征夫支部長はじめ会員八十
五名の出席、前支部長の原田光
政氏へ本部より感謝状の贈呈。
本校生徒「神楽同好会」が招待
され総勢百二十四名の会員家族
の皆さんに石見神楽を披露し盛
会でした。本部より室安会長・
木下校長・菅森事務局員が出席。

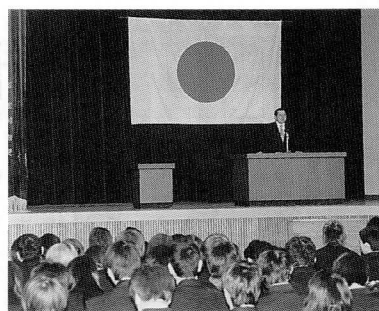


原田光政氏へ感謝状の贈呈

二月十七日 山口県支部総会

山根清建支部長はじめ会員三十
九名の出席(担当「宇部地区」)
役員改選で新支部長に上田博祥
氏(建築33年卒)が就任されま
した。大変和やかな総会でした。

本部より砂田副会長・金山教頭・
沖田事務局員が出席。
三月一日 新卒者江工会入会式
入会者数百五十名(平成十三年
度卒業生)室安会長より、「一人
では生きられない」の演題で、
自分の経験を題材に分かりやす
く講話されました。



入会式の講話 室安会長

三月二十日 江津市役所支部総会

堀川哲朗支部長はじめ会員四十
名(市議会議員五名を含む)の
出席、石見神楽の勇壮な舞いで
盛り上がった。本部より木下校
長・土井事務局長・佐々木文人
事務局員が出席。

三月三十一日 事務局の退職者

上手武光氏(工業化学35年卒)

土井正人氏(工業化学39年卒)

四月二十一日 温泉津町議会議員

選挙で江工会会員の当選者

西村喜代三氏(建築26年卒)

四月二十一日 桜江町議会議員選

挙で江工会会員の当選者

藤田 厚氏(電気43年卒)

五月十六日 江工会館運営委員会

十三年度事業・決算報告、十四
年度事業・予算審議。
運営が現況では生徒数の減少で
非常に厳しくなってきた。
今後の維持管理が大変である。
築十八年を経過しており、特に

平成13年度 江工会 一般会計 決算書

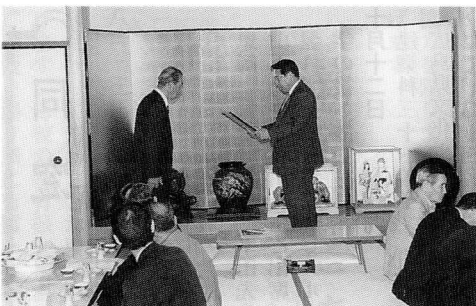
[1] 収入の部

Table with 5 columns: 科目, 本年度予算額, 本年度決算額, 増 減, 摘 要. Rows include 繰越金, 会費・入会金, 寄付金, 繰入金, 雑収入, and 収入合計.

[2] 支出の部

Table with 5 columns: 科目, 本年度予算額, 本年度決算額, 差 引, 摘 要. Rows include 事業費 (工業教育振興費, 会報発行費, etc.), 管理費 (通信費, 印刷費, etc.), 積立金, and 予備費.

エアコン・ボイラー・厨房設備
の傷みが出ており対策が必要。



高橋次郎氏へ感謝状の贈呈

五月十六日 江工会理事会・総会

十三年度事業・決算報告、十四
年度事業・予算審議、すべての
議題が承認される。第七代会長
として昭和63年より十四年間の
永きにわたり大変お世話になつ
た前会長の高橋次郎氏(建築22
年卒)へ感謝状の贈呈。懇親会
では、京都から出席の演歌歌手
山崎でいじさん(建築51年卒)
の熱唱で盛り上がった。

尚、山崎さんには今夏の「江の
川まつり出演」と「社会福祉施
設の慰問」をお願いした。
五月十七日 山田アキラさん来校
俳優の山田アキラさん(本名・
山田亮、機械60年卒)出演の映



懇 親 会

画「白い船」の「公開あいさつ」
のため里帰り、江工へあいさつ。
テレビや映画での益々のご活躍
を期待します。

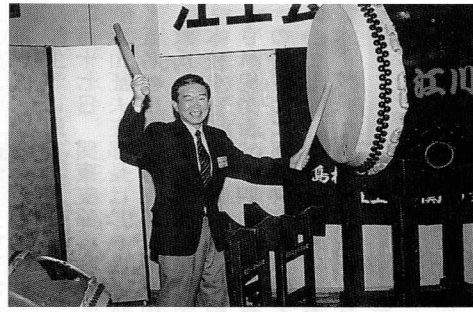
収入総額 2,322,660円 - 支出額 1,893,155円 = 差引残額 429,505円



五月十七日 江津市議会議員選挙  
 で江工会会員の当選者

室安延博氏 (建築31年卒)  
 福原昭平氏 (機械34年卒)  
 城山勝吉氏 (建築35年卒)  
 深野政勝氏 (工業化学36年卒)  
 土井正人氏 (工業化学39年卒)

六月一日 関西支部総会  
 橋目福司支部長はじめ会員五十  
 五名の出席で、川本町の「江川  
 太鼓」が招かれ迫力ある太鼓が  
 披露され盛会でした。本部より  
 室安会長・宮家事務長・高月事  
 務局長が出席。



江川太鼓に挑戦する橋目支部長

八月十六日 社会福祉施設慰問  
 演歌歌手山崎ていじさん、江の  
 川まつり出演。室安会長の案内  
 で市内の「ミレ青山」「白寿園」  
 「たかさご苑」を訪れ、入所者や  
 デイサービス利用者を前に懐メ  
 ロやオリジナルの『桜川慕情』  
 『夢の入口』など十数曲を熱唱、  
 一人一人と握手し励まし、よろ  
 こばれた。

十一月十一日 社会福祉施設慰問  
 演歌歌手山崎ていじさん、みす  
 みフェスティバル出演。桜江町  
 の「風の里・陽光苑」と市内の



「慰問あいさつ」室安会長

★慰問の状況(写真入り)を掲載  
 された報道機関(掲載日)  
 ・読売新聞(八月十七日)  
 ・山陰中央新報(八月二十日)  
 ・ごうつ広報(九月号)  
 ・毎日新聞(十一月二十四日)  
 ・さくらえ広報(十二月号)  
 ・おはようアサヒ(十二月十一日)



慰問先(白寿園)で熱唱する山崎ていじさん

同窓会

八月十五日  
 機械科四十二年卒(WHIM会)  
 大田市「さんべ荘」にて二十六  
 名参加。  
 恩師 盆子原先生、平田先生、  
 山下先生、石川先生ご出席。  
 翌日、三瓶自然館サヒメルを見  
 学の後、散会。  
 十月十二日  
 建築科三十一年卒  
 広島県文化センター「鯉城会館」  
 にて、二十四名参加



昭和31年建築科卒 同窓会

訃報

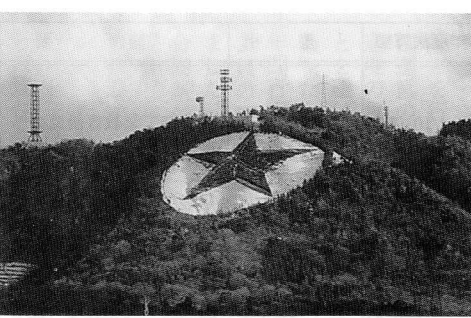
謹んでお悔み申し上げます。  
 会員のご逝去  
 山藤 良智(工化四十六年卒)  
 高松 史弘(電四十二年卒)  
 坂本 平十郎(建二十六年卒)  
 谷本 儀家(機二十八年卒)  
 柴田 一夫(建四十年卒)  
 中川 清(木芸二十八年卒)  
 松丘 隆美(電四十八年卒)  
 浜根政博(機四十八年卒)  
 (事務局で把握できた方のみ)

平成14年度 江工会 一般会計 予算書

科 目	本年度予算額	前年度予算額	増 △減	摘 要
[1] 収入の部				
1. 繰越金	429,505	900,026	△470,521	平成13年度 繰越金
2. 会費・入会金	0	1,332,000	△1,332,000	平成14年度は収入無し
3. 寄付金	10,000	10,000	0	
4. 繰入金	850,000	0	850,000	積立会計より繰入
5. 雑収入	495	974	△479	預金利息、等
収入合計	1,290,000	2,243,000	△953,000	
[2] 支出の部				
1. 事業費				
工業教育振興費	10,000	10,000	0	県高校工業教育研究会へ
会報発行費	200,000	200,000	0	江工会会報37号 発行
記念品費	30,000	50,000	△20,000	卒業生へ卒業記念品
会館運営費助成	150,000	300,000	△150,000	江工会館運営会計へ
2. 管理費				
通信費	30,000	50,000	△20,000	案内状、会報発送、他
印刷費	10,000	10,000	0	年賀状印刷
消耗品費	5,000	10,000	△5,000	
旅会費	450,000	500,000	△50,000	支部訪問、他
議費	230,000	250,000	△20,000	本部総会・支部総会 出席
慶弔費	50,000	50,000	0	祝電、弔電、御祝、香典等
雑費	100,000	120,000	△20,000	広告料、謝礼、饗別、他
3. 立金	0	500,000	△500,000	
4. 予備費	25,000	193,000	△168,000	
支出合計	1,290,000	2,243,000	△953,000	

編集後記

多忙な折、こころよくご寄稿いただきましましたことまづもつてお礼



星高山の「雪の星」

申し上げます。お蔭で第三十七号  
 を発行することができました。  
 編集が不慣れで読みづら  
 となり、反省しております。  
 さて降雪量の少ない江津市に寒  
 波が数回訪れ、星高山に『雪の星』  
 がきらめきました。  
 本館四階から星高山を望み、冬  
 の青空に映える時を待ちました。が、  
 ことのほか雲の動きが早く会報一  
 面の写真となりました。  
 赤い屋根の建物は江工会館です。  
 校門前の道路両側にある松並木は  
 ご覧の通りです。数年前に若い松  
 が植えられ元気に育っています。  
 少しでも江工周辺の変化を感じて  
 いただければ幸いに存じます。  
 今後もご意見、情報等ございま  
 したら事務局へご連絡下さい。  
 FAX〇八五五(五二)二二六四



# 江工会会報

発行所  
江 工 会

島根県津江市津町1477  
島根県立津工業高校内  
電話(代) 0855-52-2120  
郵便番号 〒 695-0011

## 会報発刊に寄せて

会長室 安延博



会員の皆様、  
新年明けましてお  
めでとうございま  
す。輝かしい平成  
十五年の新春を、  
お揃いでお元氣にお迎えのことと  
お慶び申し上げます。

昨年、激動の年でありまし  
た。思いもかけないほどの出来事  
が起こり、それがそのまま私達の  
生活の周辺にまで影響を及ぼして  
来た、そんな一年であったと思  
います。とくに、国内に於いては長  
引く景気低迷、経済社会構造の急  
激な変化などの影響を受け、大変  
厳しい状況下でありました。

また、江津く浜田間を結ぶ江津道  
路も秋には全線開通となります。  
江津から日本全国への高速交通網  
の仲間入りし利便性の向上により  
地域の産業・経済の活性化が期待  
されます。

皆様におかれましては、まさに  
正念場と成った事とお察しいたし  
ます。

江工会総会は毎年五月十六日の  
開校記念日に合わせ開催していま  
す。会員の皆様には多数ご参加い  
ただければ幸いです。

今年こそ、上り勾配のよい年を  
迎えたいと、共々祈念したいとこ  
ろです。

また、平成十六年は開校七十周年  
にあたり記念式典が十月開催の予  
定です。ご参加いただけますよう  
計画いたしたいと存じます。

全国高等学校卒業の就職率は、  
昨年十一月の集計で四十八%と報  
道されています。幸いにも本校は  
昨年度百%、本年度は誠に厳しい  
社会情勢下のなかで十二月二十日  
現在九十%と高率を推移している  
ようで、これもひとえに卒業生先  
輩諸公並びに学校長をはじめとす

昨年、江工会で企画した「社会  
福祉施設の慰問」を江工会会員唯  
一の演歌歌手「山崎ていじ」さん  
にご協力いただきました。

・八月十六日(江の川まつり)

市内「ミレ青山」「白寿園」

・十一月十一日

「たかさご苑」  
桜江「風の里・陽光苑」

市内「花の村・合歓の郷」  
五カ所の施設を訪れ、入所されて  
いる方を前に懐メロやデビュー曲  
を熱唱いただき大変喜ばれた事。  
ご報告いたすと同時に、山崎てい  
じさんを会を挙げて応援したいも  
のです。皆様方の賛同のほどお願  
いいたします。

スタントマンから現在は俳優で  
テレビや映画で活躍されておられ  
る『山田アキラ』さんが出演の映  
画「白い船」の“公開あいさつ”  
のため里帰りされ、学校にあいさ  
つに来られました。テレビでは「西  
村京太郎サスペンス・十津川警部  
シリーズ」の山下刑事役でレギュ  
ラー出演されています。ご活躍を  
期待します。

各支部におかれまして、ホット  
ニュース等がございましたら、ゼ  
ヒ事務局の方へご連絡下さい。

終わりに、会員の皆様の益々の  
ご活躍とご健勝を祈念いたします  
と共に、江工会活動にご理解とご  
協力を賜りますようお願い申し上  
げます。

## 新春のごあいさつ

一、あいさつ



会員の皆さまに  
は新春を元氣にお  
迎えになられたこ  
ととお慶び申し上  
げます。母校の教育振興に温かい  
ご支援を賜り誠に有難うございま

校長 木下 英樹

す。さて、二〇〇四年(平成十六  
年)十月には、本校創立七十周年  
記念事業を計画しております。そ  
の節はよろしくご高配のほどお願  
い申し上げます。

少子化時代という社会情勢の変  
化に対応するため二度目の学科改



校舎から星高山を望む (2003. 1. 7)

編が行われ、今年度四月より全学  
年三学科三学級体制がスタートし  
ました。学科改編にともない各科  
にコース制を導入しました。そし  
て、総合電気科と建築科の実習棟  
が約5億円の予算で新設されまし  
た。過日五月十六日めでたく竣工  
式を執り行いました。県内西部地  
区の工業高校の拠点校として地域  
産業に貢献できる人材の育成に一  
層の精進をいたす覚悟でございます。



二十一世紀に発展が約束されている「IT関連技術」や「知的財産権（特許権・著作権）」に関する知識・技術にも重点を置きながら工業教育を推し進めていきたいと考えております。

二、本校の重点課題

本校在校生の重点課題として次の四つの柱を設けています。

(一) コース制の充実

(二) 資格取得の奨励

(三) 部活動の振興

(四) 生き生きとした学校づくり

本校では「学問や知識は教養を、部活動は人格を高める」ものとその意義をとらえ、部活動の振興に努力しています。今年度さまざまな活躍をしていますが、皆さまで一つだけ紹介するとすればやはり「弓道部のすばらしい活動」であります。弓道部は現在男子も女子も強くなっています。県高校総体で男子団体戦は十八年ぶりに優勝、女子個人戦は建築科二年尾花昌美さんが二位に入賞し全国大会に出場しました。男子団体はベスト十六位。尾花さんは堂々五位入賞。その上男子団体は栄えある「技能優秀賞」に輝きました。この賞は単に技術面だけでなく礼儀、作法・態度・姿勢等内面性を重視したものです。勿論勝つて錦を飾ることもすばらしいことですが、こういう賞を頂いたことは大変誇らしく喜ばしいことです。

刀折れ矢尽きた後も、その姿勢において、全国一「的を射た」活躍を見せてくれた弓道部の一層の発展を期待しています。

紙面の都合上紹介できませんでしたが、他の部もそれぞれ非常によく活躍しています。若人が何かに熱心に取り組み、はつらつとして

ている姿は誠に清々しく活力ある学校づくりの源であると信じています。

今後とも母校に対する一層のご支援をいただきますようお願い申し上げます。

江 工 会 支 部 だ よ り

再出発と

持続可能な組織運営



関東支部長 森山 征夫 (昭和37年機卒)

月日の経つのは早いもので、平成十五年二月の江工会関東支部総会で現役員の三年間の任期が終了いたします。そして、総会でご承認いただいた後、新たに三年間の任期で次期役員による運営活動を開始いたします。新役員構成は、現支部長の私を始めとしての大部分が留任し「再出発」することになりました。ただし、世代交代と支部活動の継続性を考慮し会員各位のご理解を頂きながら、次期任期中にも新役員、連絡委員の補充と交代を行う予定です。

ここで、三年前に支部会員の皆様に申し上げました基本方針を反省しながら、過去三年間の活動を総括してみたいと思います。

一、組織の拡大と固定化

①この目標は、残念ながら過去三年間では達成できませんでしたが、機械科出身会員の参加を促すことに努力しましたが、今一步届かなかつたようです。そし

しあげます。最後になりましたが、会員の皆さまの益々のご活躍とご健勝をお祈り申し上げます。

て、四十才台以下の会員の参加と女性会員の参加については、有効的対応策を講じることが出来ませんでした。



平成 14 年度関東支部総会 (2002. 2. 17)

②また、当初、以下のような大きな目標を掲げました。

『出発点として会員名簿の更新から、新しい通信手段を利用したネットワークを作り、双方の対話型の会員コミュニティを創生したいと考えています。これは、電話・FAXを今ままでおり使用することから電子メールやホームページによる連

絡網のことを意味します。

サイバー又はバーチャルコミュニティです。会員の意見、各種の連絡、案内、提案、役員の名簿、連絡先、役員会の議事録などは、すべて簡単にアクセスでき、オープン化を図りたい。』

これに対して、支部会員の名簿作成を完成し、平成十五年二月の総会前後に支部会員に配布することが出来た大きな一歩を踏み出しました。しかし、ホームページ作成などは、支部会員の有志にお願いしたいと思っています。

二、組織の多様化

この目標に対しては、新会員(新卒)の歓迎会を四月に行い、六月又は九月に釣り大会を行うという形で、目標が達成されたことに満足しております。

ここで、私個人として、過去三年間で印象に残ることを以下のようにまとめさせていただきます。

①各役員に役割分担を与えて、それぞれのリーダーシップの基に各イベント、支部活動のまとめなどを行いました。これは、支部運営のチームワークの形成と過度の負担が個人に集中することを避ける上でかなりの成果があつたと思います。

②年間行事がほぼ定期化し、参加会員の顔ぶれも固定化してきました。一月の役員・連絡委員合同新年会、二月の総会と懇親会、四月の新会員(新卒)の歓迎会、五月の春のゴルフコンペ、六月又は九月の釣り大会、十一月の秋のゴルフコンペと親睦会と盛沢山です。回を重

ねる毎に、会員の初参加もありましたが、実際はOBの先輩方の温情に頼っています。

③特に、平成十四年二月の総会で、母校の在校生同好会による『石見神楽』の上演を行い、多くの会員をしてご家族の方を感動させたことは、まだ鮮明に記憶に残っています。これは、母校と江工会本部の多大なるご支援の賜物として、心より感謝しております。



「大蛇」を舞う江工神楽同好会

④以上のような色々な成功の背景には、各役員、連絡委員などの前向きな心の支えにより今日を迎えているのです。因みに、私自身を含めた半数以上の役員は、リストラ、配置転換、出向、転職、ご家族の不幸など厳しい状況を乗り越えてきました。今日までのいろいろな経験や失敗、不満足な点を踏まえて、この度、平成十五年二月の総会に於いて、次期任期中の基本方針を以下のように発表いたします。

一、組織の充実化

これは、組織の拡大というより、組織の充実化（仕組み作りとその意味付け）を図りたいと考えています。この中には、ホームページの作成も含まれます。この充実化により、多種多様な「共鳴するテーマ」により、会員自らが「自己表現」をするための「場」を受け皿を創造したいと考えています。そうすることにより、会員一人一人が『主役』となり自らの『出演』を作るといふことです。

二、世代交代

江工会関東支部の「独自性」と「継続性」を保ちつつ世代交代を図りたいと考えています。冒頭に申しました新たな役員・連絡員の参加を目標にします。各役員には、「出来ることを、出来る役員が、出来る時に担当して実行する」というボランティア的な運営スタイルを踏襲したいと考えています。

私は、江工会関東支部の支部長として、以上のような考えで江工会関東支部の私にとって第二期目の運営を致します。皆様のご協力ご支援を切にお願い申し上げます。

支部活動と今後の展開



関西支部長 橋目 福司 (昭和39年建卒)

会員の皆様には、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

昨年は、不況感を吹き飛ばそうと総会に『江川太鼓』を招待して盛大に開催いたしました。

『江川太鼓』は、昭和四十七年川本地方を襲った大洪水の年に、復興への願いを込めて結成されま

した。現在、日本国内での活躍はもとより、フランス、ドイツ、スイス、韓国など海外での公演もされるなど、国際交流や友好親善に大きな役割を担っております。

昨年五月の連休に、久しぶりに母校を訪問しました。あまりの変わりように、戸惑いましたが所々に、懐かしい風景も残っており、写真に撮って、総会において閲覧していただきました。

通学路の松並木も、西側は全て無く、応援歌練習をした松林も有りませんでした。

二〇〇二年こそは、厳しい中にも景気が回復に向かうのではと、祈るような気持ちでしたが、行政改革も思うように進まず、失業率の上昇、企業も生き残りをかけて、リストラや賃金カットを、断行するなど社会全体が、重苦しい雰囲気包まれた一年でした。

このような状況の中、関西支部では、何か会員相互で協力して現状を打開する対策は無いものかと考え、勉強会（会の呼称は決めていません）を呼びかけたところ、十八名の方々が出席されました。会員の自己紹介の内容を聞かれていますと、現状の厳しさがヒシヒシと伝わってきました。この勉強会ですぐに、成果が現われるとは思いませんが、会員から情報を収集し又発信する、何らかのシステム（組織）が必要ではないかと感じました。この勉強会は不定期ではありますが、年二回程度開催したいと考えています。

昨年末には、支部の運営にご尽力いただいた先輩、旧役員の方々をはじめ、勉強会に参加された会員、今後支部運営には欠かせない後輩の方、総勢二十八名の出席を

頂き懇親会を開催致しました。

この会は木村、前支部長の発案で三回目となりましたが、支部の年中行事の一つにしたいと考えています。年、一度の総会以外に、会員同士が顔を合わせる機会を、設けることは支部運営において、重要なことだと思っております。

関西支部では、総会の案内発送が、年々減少しています。住所変更の連絡がない為に、返送されるものが多くなっております。現在の発送数は、三百四十名となっております。この会報をご覧になられた方で、住所を変更された会員の方は、是非とも連絡をして頂きますようお願い致します。

最後になりましたが、会員の皆様の益々のご活躍とご健勝を、心より祈念申し上げます。今後とも関西支部の活動にご指導、ご協力をお願い致します。

山口県支部活動

山口県支部長

上田 博 祥 (昭和33年建卒)

平成十四年度より、山根清建、前支部長の後を引継ぐ事になりました。もとより浅学非才な者ではありますが、この大役を全うすべく誠心誠意努力する所存でございます。ご指導ご鞭撻の程、よろしくお願い致します。

江工会山口県支部総会も四十一回目を迎えました。

これも長年、支部活動を継続してこられた歴代支部長、役員のご努力のお陰と、支部運営にご協力を頂いています支部会員の皆様、感謝致しております。

当支部も、構成会員の高齢化が年々進み、支部活動において、若い方の参加と出席を、真剣に考えなければならぬ時期に来ていると痛感している所であります。

四十一回目の総会を宇部市において、江工会本部より砂田副会長、母校より金山教頭先生、事務局の沖田先生をお招きして、総勢三十六名が出席して開催致しました。

支部の事業、会計決算報告の議事が承認された後、本部や母校の現況報告が行なわれ、記念写真撮影をもって第一部を終了しました。

第二部の懇親会は、岩国地区から徳山下松地区、山口小郡地区、下関地区、宇部地区の順に自己紹介をして、地区代表のカラオケ、出席者全員による校歌、応援歌の合唱と続き、時の経つのも忘れる

ほど盛況でした。最後に第四十二回総会を引受ける下関地区へ引継ぎを行ない、散会となりました。



第 41 回山口県支部総会 (2002. 2. 17)

支部結成十六年を迎えて



弥栄支部長 岡本 均 (昭和49年建卒)

終りに、厳しい経済状況ではあります。会員皆様の益々のご活躍とご健勝を心より祈念申し上げますと共に、江工会及び、山口県支部の活性化の為、我々一同、更に努力致しますので、ご指導の程よろしくお願い致します。

江工会会員の皆様には、ご健にて、新年を迎えられたこととお喜び申し上げます。

平素より支部活動に対しまし



